



齋藤 弘

弘 議員(政友みらい)

質問方式
一問一答

小中学校における
新聞配置等について

Q 佐野市の小中学校では、学校の図書室に新聞を置いているところは何校あり、どのような配分状況になっているか。

また政府は、児童生徒が社会の課題を多角的に捉え、自ら判断するために図書室に新聞配置が必要と判断し、小学校に1紙、中学校に2紙置くように自治体に促すとしているがどう考えるか。

A 教育長

小学校の図書室に新聞が配備されているのは6校で、このうち5校が1紙、1校が2紙配備となっています。なお、新聞販売店のご厚意により新聞が教室に配備されている学校を含むと小学校全27校のうち21校に配備しています。中学校については9校全てに1紙を配備しています。

平成29年度から、配備していない6校の小中学校については、図書室に1紙配備し、全部の中学校については2紙配備する方向で指導していきたく考えています。

その他の質問

☆行政経営方針について
☆公共施設の総合管理について



金子 保利

保利 議員(政風会)

質問方式
一問一答

道路行政について

Q 県道佐野古河線の道路改良事業は、高萩町交差点と高萩交差点(50号バイパス跨道橋)の道路冠水を解消する事業だが、雨水放流先が確保されていないことから、事業が終了しても2つの交差点付近の道路冠水解消とはならないのではないかと危惧している。このことについて、どのように対処するのか伺いたい。

A 都市建設部長

この箇所は、台風やゲリラ豪雨のような短時間豪雨の際に、たびたび道路冠水が発生することを、県も本市も認識しています。県が行う今回の道路改良事業に合わせ道路冠水も解消できるよう要望しています。今後の計画は、地域の雨水排水も合わせて処理できるように流末の計画を作成し、できるだけ早く整備促進がかなうよう、引き続き県と協力していきます。

その他の質問

☆安心安全な街づくりについて



▲冠水の様子



飯田 昌弘

昌弘 議員(自民佐野)

質問方式
一問一答

不登校について

Q 不登校児童生徒の3年間の推移についてどのように考え、不登校対策としてどのように対処してきたのか。

また、不登校ゼロに向けた決意を伺いたい。

A 教育長

平成25から27年度は増加の傾向でしたが28年度は減少傾向に転じています。増加の要因は、子供を取り巻く社会の変化や、無理な通学は状況を悪化させる懸念があるため子供に無理はさせないという考えが広まっていると捉えています。各学校では不登校対策委員会を設置し児童生徒一人一人の状況に適切に対応が図れるよう努め、教育委員会に報告のうえ、連携し指導しています。教育委員会としては不登校に関する問題は解決すべき重大な課題と捉え、今後とも学校、関係機関、家庭との連携を図りながら不登校の予防、早期発見、早期対応にしっかりと取り組んでいきます。

その他の質問

☆児童生徒の登下校時の安全対策について
☆中心市街地の活性化について
☆テレビや携帯電話、ゲームに費やす時間と家庭学習の割合の相関関係について
☆佐野市の運転免許返納状況について

